

第3章

第3章

計画の基本的な考え

1 理念

誰もがやすらぎと生きがいを感じる

しょうがいけんこう 「笑街健幸」のまちの実現

本計画は、「第5次清水町健康増進計画・第4次清水町食育推進計画・第4次清水町歯科保健行動計画」として、これまでの個別計画を一体的に策定します。

そこで、清水町総合計画と整合を図り、誰もが生涯にわたって活躍し、心身ともに健康で幸せを感じられるくらしの実現を目指し、3計画に共通の理念として『誰もがやすらぎと生きがいを感じる「笑街健幸」のまちの実現』を掲げます。

※笑街健幸とは、街角に笑顔があふれ、町民がいつまでも健康で幸せにくらす様子を表現した造語。

2 めざす姿

本計画の理念の実現に向け、各計画のめざす姿を設定します。

(1) 第5次清水町健康増進計画

「一人ひとりが主役、みんなで健康づくりに取り組もう」

町民一人ひとりが自らの健康づくりに主体的に取り組み、地域・家庭・職場で互いに支えあいながら、誰もが健やかに生きがいを感じて暮らせるまちを目指します。

(2) 第4次清水町食育推進計画

「～みんなで食育大行進～食育でつなぐ明日への元気」

食を通じて心と体の健康を育み、世代や地域を越えて食育の輪を広げ、日々の生活に元気をもたらす暮らしをみんなで進めていくまちを目指します。

(3) 第4次清水町歯科保健行動計画

「生涯おいしく食べ、楽しく話せるお口の健康に取り組もう」

生涯にわたり食べる・話す機能を守り、生活の質を高めることで、誰もが笑顔で暮らせるよう、口の健康を大切にするまちを目指します。

3 取組を推進するにあたっての視点

本計画では、こどもから高齢者まですべての町民が共に支え合いながら希望や生きがいを持ち、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を目指していくため、生活習慣および社会環境の変化に合わせ、各ライフステージに応じた健康づくりに着目した対策が必要です。

ライフコースによって心身の機能や生活パターンが異なるため、健康づくりの課題や取組が変化します。社会の多様化や環境の変化を踏まえ、「誰一人取り残さない健康づくり」を推進するには、各ライフステージ特有の課題に取り組むことが重要です。また、過去の生活習慣は次のライフステージの健康状態に大きく関わります。

これらを踏まえ、こども期から高齢期まで人の生涯を経時的に捉えたライフコースアプローチの観点を取り入れ、健康づくりを推進していきます。

4 ライフステージ別の区分

本計画では、健康増進計画、食育推進計画、歯科保健行動計画に関して町民や行政の取組を示しています。町民の取組については、生活スタイルや心身の状況など年代の特性を踏まえ、一人ひとりに合った健康づくりに取り組めるよう、ライフステージごとの視点で整理しました。

[ライフステージの区分]

| ライフステージ | 対象年代 |
|---------|----------|
| こども期 | 0～18歳 未満 |
| 成人期 | 18歳～64歳 |
| ※ 高齢期 | 65歳 以上 |

※高齢期は、前期高齢者（65歳～74歳）と、後期高齢者（75歳以上）に分かれます。

5 計画の全体像

【基本理念】

誰もがやすらぎと生きがいを感じる「しょうがいけんこう笑街健幸」のまちの実現

第5次清水町 健康増進計画

【めざす姿】

一人ひとりが主役、みんなで健康づくりに取り組もう

- 1 生活習慣の改善
- 2 生活習慣病の発症予防
及び重症化予防の推進
- 3 健康を支えるための
社会環境の整備

※取組の一部は、食育推進計画及び歯科保健行動計画に掲載

第4次清水町 食育推進計画

【めざす姿】

～みんなで食育大行進～
食育でつなぐ明日への元気

- 1 食への関心を深める食育
- 2 みんなで育む食育
- 3 ずっと健康でいるための
食育
- 4 町全体ですすめる食育

第4次清水町 歯科保健行動計画

【めざす姿】

生涯おいしく食べ、楽しく
話せるお口の健康に取り組もう

- 1 8020運動の推進
- 2 むし歯や歯周病予防対策
- 3 口腔機能の
獲得・維持・向上
- 4 災害と歯科救急体制の整備
- 5 歯や口の健康づくりの
調査研究

ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

妊娠・出産



こども期



成人期



高齢期

女性

